

スタートアップ部門

写真部門

ポスター／デザイン部門

読書感想文部門

作文／小論文部門

小説部門

詩部門



学ぶ人は、
変えて
いく人だ。

得意なジャンルで
チャレンジ!

第70回

全国学芸サイエンス コンクール

National Art & Science Contest

絵画部門

書道部門

理科自由研究部門

自然科学研究部門

社会科自由研究部門

人文社会科学研究部門

応募締切

2026年

9月24日

当日消印有効

参加者全員に
参加賞を
プレゼント!



全国学芸サイエンスコンクール
公式キャラクター「ラビス」

全国学芸サイエンスコンクールは
SARTASの2026年度助成事業です。

主催 旺文社

後援 文部科学省／環境省／こども家庭庁

特別協賛 日本英語検定協会／DNP大日本印刷

特別協力 全国連合小学校長会／全日本中学校長会／全国高等学校長協会／
全国小学校理科研究協議会／全国中学校理科教育研究会／
日本科学技術振興財団／日本芸術院／早稲田大学／慶應義塾／共同通信社／
旺文社ベンチャーズ

協賛 岩岡印刷／大林組／旭洋／三省堂印刷／システムシンク／シロキ／
新生紙パルプ商事／高尾丸王製紙／チエル／中越パルプ工業／TOPPANクロレ／
日能研／日新印刷／日本紙通商／日本生涯学習総合研究所／日本書道教育学会／
日本製紙／パイロットコーポレーション／北越コーポレーション／みずほ銀行／
メットライフ生命保険／ロジテムエージェンシー

■お問い合わせ先

〒162-8680 東京都新宿区横寺町55

株式会社 旺文社

全国学芸サイエンスコンクール事務局

Eメール：gakkon@obunsha.co.jp

<https://www.obunsha.co.jp/gakkon/>

全国学芸



公式サイトへ



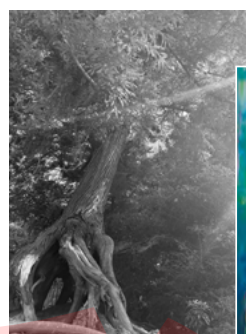
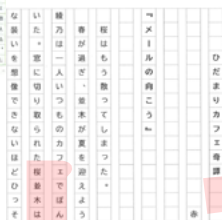
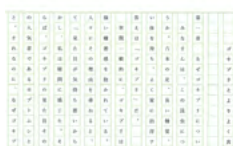
第70回 全国学芸 サイエンスコンクール

学ぶ人は、
変えて
ゆく人だ。



サイエンス、アート、文芸、イノベーションジャンル
全13部門の中から、得意なジャンルで応募しよう！

作品募集期間 2026年6月1日(月)～9月24日(木)
(当日消印有効)



第69回全国学芸サイエンスコンクール金賞作品

旺文社主催／文部科学省・環境省・こども家庭庁後援「全国学芸サイエンスコンクール」は、全国の小学生・中学生・高校生の研究・アートおよび文芸の振興奨励と、その個性の育成を目的に、各界各方面からご賛同とご支援をいただき、昭和32年(1957年)の第1回開催以来毎年実施しているもので、今年度で第70回を迎えます。日本全国はもとより海外の学校からも多くのご参加をいただき、昨年度は7万点を超える作品が寄せられました。

今年度はサイエンスジャンル(理科系・社会科系の各研究分野)と学芸ジャンル(アート・文芸Ⅰ・文芸Ⅱ・環境の各分野)の2つのジャンルに加えて、イノベーションジャンル

を含め、全13部門で作品を募集いたします。幅広く多様な分野に多くの部門を設け、児童生徒のみなさんがそれぞれの得意分野で制作した作品をご応募いただける総合コンクールとなっています。

優秀作品には、内閣総理大臣賞・文部科学大臣賞・環境大臣賞・分野賞のほか、協賛協力企業・団体より各種の賞が授与されます。

「青少年の感性を高め、創造力を伸ばす」というコンクールの教育的意義にぜひご賛同いただき、夏休みの創作活動をはじめ日々の学習成果の発表の場として、積極的なご応募を心よりお待ちしております。

主催 旺文社

後援 文部科学省・環境省・こども家庭庁

特別協賛 日本英語検定協会・DNP大日本印刷

特別協力 全国連合小学校長会／全日本中学校長会／全国高等学校長協会／全国小学校理科研究協議会／
全国中学校理科教育研究会／日本科学技術振興財団／日本芸術院／早稲田大学／慶應義塾／
共同通信社／旺文社ベンチャーズ

協賛 岩岡印刷／大林組／旭洋／三省堂印刷／システムシンク／シロキ／新生紙パルプ商事／高尾丸王製紙／
チエル／中越パルプ工業／TOPPANクロレ／日能研／日新印刷／日本紙通商／日本生涯学習総合研究所／
日本書道教育学会／日本製紙／パイロットコーポレーション／北越コーポレーション／みずほ銀行／
三菱UFJ銀行／メットライフ生命保険／ロジテムエージェンシー

もくじ

応募要項（全分野共通事項）・サイエンス分野共通事項					3
サイエンスジャンル	サイエンス分野	小学生の部	中学生の部	高校生の部	4
	① 理科自由研究部門	○ ※小学4年生以上	○	—	
	② 自然科学研究部門	—	—	○	
	③ 社会科自由研究部門	○ ※小学4年生以上	○	—	
	④ 人文社会科学研究部門	—	—	○	
学芸ジャンル	アート分野	小学生の部	中学生の部	高校生の部	5
	⑤ 絵画部門	○	○	○	
	⑥ 書道部門	○	○	○	
	文芸Ⅰ分野	小学生の部	中学生の部	高校生の部	6
	⑦ 小説部門	—	○	○	
	⑧ 詩部門	○	○	○	
	文芸Ⅱ分野	小学生の部	中学生の部	高校生の部	7
	⑨ 読書感想文部門	○	○	○	
	⑩ 作文／小論文部門	○ ※作文での応募	○ ※作文での応募	○ ※小論文での応募	
	環境分野	小学生の部	中学生の部	高校生の部	8
	⑪ 写真部門	○	○	○	
	⑫ ポスター／デザイン部門	○	○	○	
イノベーションジャンル	イノベーション分野	小学生の部	中学生の部	高校生の部	9
	⑬ スタートアップ部門	○ ※小学4年生以上	○	○	
応募方法					10
賞について					13
選考委員について					14
第69回全国学芸サイエンスコンクール アート分野・環境分野 金賞作品					15
第69回全国学芸サイエンスコンクール 受賞にあたって （内閣総理大臣賞・文部科学大臣賞・環境大臣賞）					17
金賞作品集について					19

応募要項 全分野共通事項

- 同一部門での応募は1人(1グループ)1点とする。
- 応募作品は自作のものとする。他の作品を模したものや、盗作や不適切な引用などがあった場合は、入賞後でも入賞を取り消しとする。全国規模のコンクールに応募した作品は応募不可。
※都道府県規模のコンクールに応募した作品も応募可。
- 破損しやすいもの、腐敗しやすいもの、危険物などは応募不可。
※破損した場合、当コンクールでは責任は負わないものとする。
- 応募作品・作品名・関連図書名、応募者氏名・学校名・学年は、主催者のWebサイトや刊行物などで発表することがある。またテレビ・雑誌などの各種媒体で発表することがある。
(発表の際には、使用している漢字を常用漢字に基づき、置き換えることがある。)

生成系 AI の使用について (第70回全国学芸サイエンスコンクール作品募集開始にあたり)

ChatGPT に代表される生成系 AI (以下、生成 AI と記載) の使用について、コンクールの主催者としての旺文社の考えを記します。昨今急速に普及している生成 AI をとりまく環境やルールは日々刻々と変化していますが、第70回全国学芸サイエンスコンクールの応募にあたっては下記をよく読んでご応募ください。

◆ 応募する作品内における文章作成 (推敲等を含みます) のために生成 AI を利用しないでください。

本コンクールの応募者＝小学生、中学生、高校生は「学習者」と考えます。作品の見直し、読み直し、音読など、推敲を通じて作品が完成度を高めていく過程は、学習者にとって貴重な成長の機会です。ぜひ、自分自身の力で作品を磨き上げていってください。旺文社はコンクールの主催者として応募者一人一人の豊かな成長につながる場でありたいと願っています。日本語の文章を作る場面以外では、生成 AI の使用を一律に禁止はしませんが、全部門を通じて『生成 AI による出力そのままは不可』としたうえで下記の規定を設けます。

生成 AI を使用した場合は、生成 AI の名前や使用した箇所、どのように使用したかについて正確に、もれなく記載してください。場所は指定しませんが、審査委員にわかりやすい場所に記載してください。(審査中に事務局からご連絡をする場合があります。) なお、作品の最終的な内容確認や修正は応募者自身が行なってください。

○ 応募作品は自作のものとする。

○ 自作でないものや、他の作品を模したもの、盗作や不適切な引用などがあった場合は、入賞後でも入賞を取り消しとする。

(生成 AI についてここに記載のこと以外は応募者ご自身で判断をしてください。)

2026年6月1日

サイエンスジャンル

■サイエンス分野共通

- ☐ 小学4年生～高校3年生対象。
- ☒ 上記の「全分野共通」を確認すること。
- ☐ グループなど共同制作した作品の応募も可。グループ応募の場合は、作品の巻末に**グループ名**と**制作者全員の名前**、**指導した先生名**を明記し、応募用紙・応募票の名前の欄に**グループ名**と制作に携わった**人数**を記入。
- ☒ レポート用紙を使用した場合は、**必ずページ番号をふる**。パソコン入力などのプリントアウトも同様。
- ☒ 『継続研究』について
Part 2、Part 3などの継続研究を応募する場合は、作品の1ページ目に Part ごとの研究成果や発展内容を簡潔にまとめること。また、コンクール受賞歴がある場合は、受賞したパートに「○○コンクール 西暦何年受賞」と記載のこと。



①理科自由研究部門 小学生の部・中学生の部

(4年生以上が対象)

※ WEB エントリーシステムで出力した応募用紙は作品に同封、QR コード付き応募票を作品の裏面にのり付け。(▶12ページ)

- テーマ → 自由。
- 内 容 → 理科に関する自由研究。写真や図表などを本文中に取り込んでもよい。資料は別に添付してもよい。参考文献を明記すること。
- 枚 数 → レポート用紙などを使用し、パソコン入力も可。
パソコン入力の場合は、フォントサイズは10.5ポイント以上とする。枚数は規定なし。小学生は模造紙・画用紙使用可。

②自然科学研究部門 高校生の部

※ WEB エントリーシステムで出力した応募用紙は作品に同封、QR コード付き応募票を作品の裏面にのり付け。(▶12ページ)

- テーマ → 自由。
- 内 容 → 物理・化学・生物・地学などの理系に関する研究論文。写真や図表などを本文中に取り込んでもよい。資料は別に添付してもよい。参考文献を明記すること。
- 枚 数 → レポート用紙などを使用し、パソコン入力も可。
パソコン入力の場合は、フォントサイズは10.5ポイント以上とする。文字数は8,000字以上。本文8,000字には、参考文献・図版・写真・注釈等は含まない。規定文字数に足りない場合は選外となる場合がある。

③社会科自由研究部門 小学生の部・中学生の部

(4年生以上が対象)

※ WEB エントリーシステムで出力した応募用紙は作品に同封、QR コード付き応募票を作品の裏面にのり付け。(▶12ページ)

- テーマ → 自由。
- 内 容 → 社会科に関する自由研究。写真や図表などを本文中に取り込んでもよい。資料は別に添付してもよい。参考文献を明記すること。
- 枚 数 → レポート用紙などを使用し、パソコン入力も可。
パソコン入力の場合は、フォントサイズは10.5ポイント以上とする。枚数は規定なし。小学生は模造紙・画用紙使用可。

④人文社会科学研究部門 高校生の部

※ WEB エントリーシステムで出力した応募用紙は作品に同封、QR コード付き応募票を作品の裏面にのり付け。(▶12ページ)

- テーマ → 自由。
- 内 容 → 地理・歴史・現代社会・文学などの文系に関する研究論文。写真や図表などを本文中に取り込んでもよい。資料は別に添付してもよい。参考文献を明記すること。
- 枚 数 → レポート用紙などを使用し、パソコン入力も可。
パソコン入力の場合は、フォントサイズは10.5ポイント以上とする。文字数は8,000字以上。本文8,000字には、参考文献・図版・写真・注釈等は含まない。規定文字数に足りない場合は選外となる場合がある。



学芸ジャンル

■アート分野共通

- ☒ 小学1年生～高校3年生対象。
- ☒ 3ページの「全分野共通」を確認すること。
- ☒ 個人作品に限る。
- ☒ 生成 AI による作品は不可。(3ページ「全分野共通」を参照)

⑤ 絵画部門 小学生の部・中学生の部・高校生の部

※ WEB エントリーシステムで出力した応募用紙は作品に同封、QR コード付き応募票を作品の裏面にのり付け。(▶12ページ)

○テーマ/素材 → 自由。

○サイズ → 6号大 (410mm×318mm) 以上～ 50号大 (1,167mm×910mm) 以内。

※規定より小さい作品を規定サイズの紙に貼るなどした場合は、選外となる。

※絵画の大型作品につきましては、基本的には2作品ずつの梱包でご返送する予定です。

(10作品の場合は2作品×5個口になる予定ですが、作品によっては1作品ずつになる場合がございます)

○その他 → 立体作品は不可。また、立体物や破損しやすいものを貼り付けた作品も選外となる。

⑥ 書道部門

小学生の部・中学生の部

※ WEB エントリーシステムで出力した応募用紙は作品に同封、QR コード付き応募票を作品の裏面にのり付け。(▶12ページ)

○文字・書体 → 自由 (学年に合ったものを選ぶこと)。

○サイズ → 半紙または画仙紙半折の1/4 (約340mm×350mm) を使用。

○文字数 → 小学1～3年は2字以内。／小学4～6年は6字以内。／中学生は6字以内。

○その他 → 学年・名前を書き入れること。

高校生の部

※ WEB エントリーシステムで出力した QR コード付き応募票を作品の裏面にのり付け。(▶12ページ)

○文字・書体 → 自由題で、書体・書式は自由。

○サイズ → 画仙紙半切大 (約1,350mm×350mm) または画仙紙^{れん}聯落ちを上方向から580mmに切ったもの (約580mm×530mm) を使用。半紙は不可。

○その他 → 作品の読み方を応募票に必ず明記すること。仮表装の必要なし。



学芸ジャンル

■ 文芸 I 分野共通

- ☒ 小学1年生～高校3年生対象。(小説部門のみ中学1年生～高校3年生対象)
- ☒ 3ページの「全分野共通」を確認すること。
- ☒ 個人作品に限る。
- ☒ 書き出しに題名・名前を明記すること。原稿用紙には必ずページ番号をふる。パソコンなどで作成し、プリントアウト(1ページ400字詰め)した作品にも、必ずページ番号をふること。
- ☒ 原稿用紙は袋とじにせず開いた状態で右上をホチキスや綴じひもなどで綴じること。
- ☒ 規定枚数を超えた作品は、選外となる。

⑦ 小説部門 中学生の部・高校生の部

※ WEB エントリーシステムで出力した応募用紙は作品に同封、QRコード付き応募票を作品のオモテ面にホチキス止め。(▶12ページ)

- **テーマ** → 自由。
- **枚数** → 400字詰原稿用紙10枚から80枚以内で、タテ書きとする。パソコンを使用する場合には1枚を400字詰めとすること。
- **その他** → 原稿用紙1枚程度に※「**あらすじ**」をまとめ、作品の冒頭に必ず添付する。なお、「あらすじ」は規定枚数には含まれないため、ページ番号はふらないこと。
※「あらすじ」がない場合は、選外となる。

⑧ 詩部門 小学生の部・中学生の部・高校生の部

※ WEB エントリーシステムで出力した応募用紙は作品に同封、QRコード付き応募票を作品のオモテ面にホチキス止め。(▶12ページ)

- **テーマ** → 自由。
- **その他** → 400字詰原稿用紙を使用すること。タテ書きとする。パソコン入力可。



学芸ジャンル

■ 文芸Ⅱ 分野共通

- ☒ 小学1年生～高校3年生対象。
- ☒ 3ページの「全分野共通」を確認すること。
- ☒ 個人作品に限る。
- ☒ 書き出しに題名・名前を明記すること。原稿用紙には必ずページ番号をふる。パソコンなどで作成し、プリントアウト（1ページ400字詰め）した作品にも、必ずページ番号をふること。
- ☒ 原稿用紙は袋とじにせず開いた状態で右上をホチキスや綴じひもなどで綴じること。
- ☒ 規定枚数を超えた作品は、選外となる。

⑨ 読書感想文部門 小学生の部・中学生の部・高校生の部

※ WEB エントリーシステムで出力した応募用紙は作品に同封、QRコード付き応募票を作品のオモテ面にホチキス止め。（▶12ページ）

○書 籍 → 自由。

○枚 数 → 400字詰め原稿用紙を使用すること。タテ書きとする。（パソコン入力可）
原則として、1行目はタイトル、2行目は氏名、3行目から本文スタートとする。

▶小学1～4年生 2～3枚

▶小学5・6年生 3～4枚

▶中学生・高校生 4～5枚

○その他 → 応募票に、書名・著者名・出版社名を明記すること。

⑩ 作文／小論文部門 小学生の部・中学生の部・高校生の部

（作文での応募）

（作文での応募）

（小論文での応募）

※ WEB エントリーシステムで出力した応募用紙は作品に同封、QRコード付き応募票を作品のオモテ面にホチキス止め。（▶12ページ）

○テーマ → 自由。

○その他 → 高校生の小論文は自分の意見や判断・推論などを述べたもの。
参考文献を明記すること（規定枚数には含まれない）。

○枚 数 → 400字詰め原稿用紙を使用すること。タテ書きとする。（パソコン入力可）
原則として、1行目はタイトル、2行目は氏名、3行目から本文スタートとする。

▶小学生 2～6枚

▶中学生 4～10枚

▶高校生 8～20枚



第70回 全国学芸 サイエンスコンクール

学
ぶ
人
は、
変
えて
ゆ
く
人
だ。



文芸ジャンル

■環境分野共通

- ☒ 小学1年生～高校3年生対象。
- ☒ 3ページの「全分野共通」を確認すること。
- ☒ 個人作品に限る。
- ☒ 環境問題をテーマにした作品に限る。
- ☒ 作品名は必ず応募票に明記すること。

⑪写真部門 小学生の部・中学生の部・高校生の部

※ WEB エントリーシステムで出力した応募用紙は作品に同封、QRコード付き応募票を作品の裏面にのり付け。(▶12ページ)

- テーマ → 環境問題をテーマにした作品に限る。
(例) 地球温暖化・資源の浪費、森林破壊、海洋汚染・水質汚染・大気汚染など、環境保全について意識を高める写真に限る。
- サイズ → 六つ切り(203mm×254mm)以上～四つ切り(254mm×305mm)以内。デジタル写真は、規定サイズ範囲内の写真用光沢紙にプリントアウトしたものに限り。
- その他 → 作品のタイトルを必ず応募票に明記する。カラー・モノクロのいずれでもよい。
スマートフォン、デジタルカメラなど、静止画を撮影できるすべての機器で撮影した作品。画像の加工や合成*など、修正した作品は不可。

※合成とは、作品表現上、重要な要素になるような加筆や削除など二次的な画像加工処理を施すことを指す。
軽度の明るさ、色の補正は合成には入らない。

⑫ポスター/デザイン部門 小学生の部・中学生の部・高校生の部

※ WEB エントリーシステムで出力した応募用紙は作品に同封、QRコード付き応募票を作品の裏面にのり付け。(▶12ページ)

ポスターで応募

- テーマ → 環境問題をテーマにした作品に限る。
(例) 地球温暖化・資源の浪費、森林破壊、海洋汚染・水質汚染・大気汚染など、環境保全について意識を高める作品に限る。
ポスターには、ふさわしい言葉やキャッチフレーズを入れること。また、キャッチフレーズと作品タイトルは同一にすること。
- サイズ → B3(515mm×364mm)以上～B全判(1,085mm×765mm)以内。

デザインで応募

- テーマ → 環境問題をテーマにした絵柄・図案等を表現した作品に限る。
(例) 地球温暖化・資源の浪費、森林破壊、海洋汚染・水質汚染・大気汚染など、環境保全について意識を高める作品に限る。壊れやすいものは不可。
- サイズ → B全判(1,085mm×765mm)以内。

イノベーションジャンル イノベーション分野

■スタートアップ部門

小学生の部・中学生の部・高校生の部

(4年生以上が対象)

- ☒ 小学4年生～高校3年生対象。
 - ☒ 3ページの「全分野共通」を確認すること。
 - ☒ グループなどで共同制作した作品の応募も可能。グループの人数制限はなし。クラス単位での応募も可能。グループでの応募の場合は、作品の巻末にグループ名と制作者全員の氏名、指導した先生名を明記してください。
 - ☒ PDF や JPEG などの電子データで送付(紙でも受付可能。用紙のサイズ指定はなし)。
 - ☒ 学校応募の場合、提出作品をフォルダにまとめ、フォルダを圧縮した zip ファイルで提出すること(フォルダ名は学校名にすること)。
 - ☒ 指定フォーマットの使用は自由。指定フォーマットを使用しない場合は、表紙に学校名、学年、氏名、作品名を記載すること。
- ※ 指定フォーマットは下記URL(全国学芸サイエンスコンクールホームページ)よりダウンロードできます。

他部門と応募方法が異なりますので詳しくは
「スタートアップ部門応募要項(PDF)をご覧ください。

<https://www.obunsha.co.jp/gakkon/startup/>



小学生の部のテーマ

中学生の部・高校生の部のテーマ

テーマ①：地域活性化ビジネス

自分の住む町に「こんなお店があったらいいな」「こんな施設があったらいいな」「こんな街並みにしたい」など、自分がより魅力を感じる町、より大好きな町、より人に愛される町などを想像してください。
そのアイデアを実現するために課題を見つけ調べてみましょう。課題解決には何が必要(集客、ものの販売、サービスの提供など)かを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。

自分の住む街をより良く活性化させるビジネスアイデアを創造しましょう。
そのアイデアを実現するための課題解決策や集客、ものの販売、サービスの提供、収益目標(構想・計画)などを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。

テーマ②：社会・環境問題解決ビジネス

いま、世の中では何が起こっているのか。日頃、自分が感じている疑問や不安に思うことなどを思い起こしてください。
その思い起こしたことを自分事として捉え、解決するには何が必要(集客、ものの販売、サービスの提供など)かを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。

いま、世の中で起きている様々な問題を解決するためのビジネスアイデアを創造しましょう。
そのアイデアを実現するための課題解決策や集客、ものの販売、サービスの提供、収益目標(構想・計画)などを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。

テーマ③：未来の学校・教育ビジネス

「こんな学校だったらいいな」「こんな授業があるといいな」「こんなこと学びたいな」など、自分がより学べる、毎日通いたくなる、楽しくなる学校や学習法などを想像してください。そのアイデアを実現するために課題を見つけ調べてみましょう。課題解決には何が必要(集客、ものの販売、サービスの提供など)かを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。

みんなが通いたくなる(入学したくなる)素敵な学校モデルやより学べる仕組みや新しい学習法等のビジネスアイデアを創造しましょう。
そのアイデアを実現するための課題解決策や集客、ものの販売、サービスの提供、収益目標(構想・計画)などを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。

テーマ④：その他のテーマでのスタートアップアイデア

①②③に属さない商品やサービス「こんなものがあっていいな」「こんなサービスがあったらいいな」などを想像してください。
そのアイデアを実現するために課題を見つけ調べてみましょう。課題解決には何が必要(集客、ものの販売、サービスの提供など)かを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。

①②③に属さない商品やサービス「こんなものがあっていいな」「こんなサービスがあったらいいな」等、ビジネスアイデアを創造しましょう。そのアイデアを実現するための課題解決策や集客、ものの販売、サービスの提供、収益目標(構想・計画)などを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。

応募手順

WEB エントリーシステムに登録、応募用紙と QR コード付き応募票をプリントします。

応募用紙は作品に同封、応募票は作品のウラにのり付け(文芸分野は作品オモテにホチキス止め)して、作品を事務局に送ります。

詳しい手順は応募マニュアルをご覧ください。



学校応募用マニュアル



個人応募用マニュアル



塾応募用マニュアル

① WEB エントリーシステム 応募事前登録

全国学芸サイエンスコンクールホームページから入ることができます。



学校で応募 学校(先生)

担当の先生・学校情報入力
学校番号入力
(検索機能で自動入力)

個人で応募 個人(児童・生徒)

児童・生徒の情報入力

塾で応募 塾(先生)

担当の先生・塾情報
塾番号^{※1}入力

※1 過去に塾番号が発行されている場合はその番号を入力してください。はじめての塾応募される方は事務局にメールまたは電話でお問い合わせください。

必要事項を入力後、送信ボタンを押して画面を閉じます

✉事務局からのメールを受信

メールに記載されている URL からログインをして、②応募登録に進みます。

②「応募登録」を押します



必要事項を入力後、応募内容登録ボタンを押して画面を閉じます。

③応募内容の確認をして応募用紙・応募票を生成します

確定ボタンを押すと、応募用紙および応募票は自動生成されます。

④「応募用紙 / 応募票 PDF 出力」を押してダウンロードします

応募用紙・応募票をプリントしてください。

ご自宅にプリンターがない場合は、コンビニエンスストアや、家電量販店などでも PDF プリントできます。

⑤学校でまとめて応募する場合

学校応募用紙【必ず作品に同封】

「学校応募用紙」は応募票と切り離し、応募作品と一緒に送ってください。

作品の応募点数が多い部門につきましては、あらかじめ校内選考のうえ、各部門10点以内でご応募ください。

「校内総応募点数口点中 コンクール応募点数口点」と必ずご記入ください。

参加賞は校内応募者を含む応募者全員にさしあげます。学校応募用紙は、学校用控えとして必ずコピーをとり、保存しておいてください。

応募票【必ず作品に添付】 応募票は作品1点ごとに、作品に添付してください。(添付方法は次ページ参照)

⑤個人で応募する場合

個人応募用紙【必ず作品に同封】 「個人応募用紙」は応募票と切り離し、応募作品と一緒に送ってください。

応募票【必ず作品に添付】 応募票は作品1点ごとに添付してください。(添付方法は次ページ参照)

※なお、入賞のご連絡や参加賞のお届けなどは、学校経由としております。あらかじめ担当の先生などにお話をしておいてください。

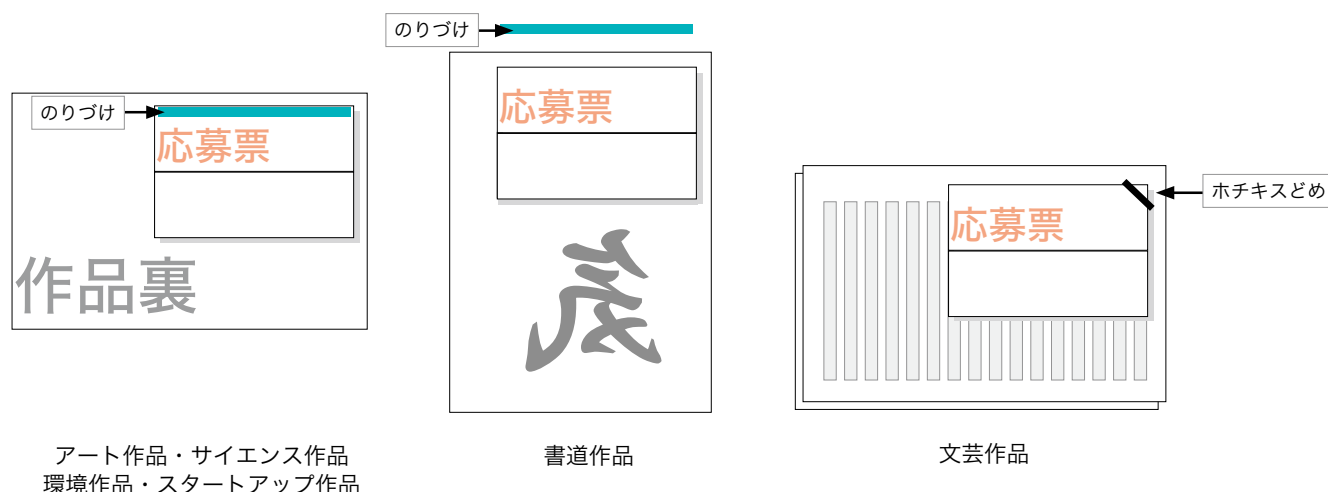
⑤塾でまとめて応募する場合

塾応募用紙【必ず作品に同封】 「塾応募用紙」は応募票と切り離し、応募作品と一緒に送ってください。

応募票【必ず作品に添付】 応募票は作品1点ごとに、作品に添付してください。(添付方法は次ページ参照)

※なお、入賞のご連絡は学校経由となります。参加賞は塾にお送りいたします。あらかじめ担当の先生などにお話をしておいてください。

応募票の添付方法



作品応募しめきり 9月24日(木) 当日消印有効

〒162-8680 東京都新宿区横寺町55 株式会社 旺文社 全国学芸サイエンスコンクール事務局

電話 03-3266-8002 Email gakkon@obunsha.co.jp

※ Eメールでの応募はできません。(スタートアップ部門を除く)

◆ 作品返却について

作品返却は原則いたしません。必要に応じてコピーや写真をとっておいてください。ただし、サイエンスジャンル・絵画・ポスター・書道に限っては、希望者に限り返却対応をいたします。

返却にかかる費用は、**応募者のご負担**となります。※ゆうパック使用予定(着払い)。その他の宅配業者を使用する場合もあります。なお、金銀銅賞受賞作品は、2027年3月5日(金)の表彰式で展示予定です。ご返却を希望された場合は、表彰式後のご返却となりますことをご了承ください。

◆ 応募作品の著作権について

入賞作品を含むすべての応募作品の著作権は、応募者(作者)に帰属します。ただし、応募者は、応募の時点で、主催者(旺文社)が応募作品について作品集、ホームページ、動画集などへの掲載等を含む当コンクール事業に関する利用を行うこと、および当コンクール事業に関して旺文社の取引先および新聞社等を含む第三者に対し利用させることを許諾するものとします。また、主催者(旺文社)は、上記利用にあたり必要な範囲での改変、翻案および編集等を行い、必要な範囲で方法・媒体を問わず利用できるものとします。なお、当コンクール事業以外の利用については別途応募者(作者)ご承諾のうえで行います。

◆ 個人情報の取り扱いについて

応募の際に提供された個人情報(氏名、学校名、学年、年齢、住所、電話番号等)は、コンクール運営業務(審査、本人確認、受賞および表彰式等)に関するご連絡、受賞者の発表、作品集への掲載、作品集および参加賞等の発送、作品の返送、アンケートの実施、次年度開催に関するご連絡等の目的以外では使用されることは一切ありません。

なお、作品集への掲載は、原則として氏名、学校名、学年(別途ご提供いただいた情報がある場合はこれを含みます)となります。また、旺文社はコンクール運営のために個人情報の取扱いを委託することがあります。

お送りいただいた個人情報の取扱いについては、旺文社ホームページに掲載の[旺文社の個人情報保護方針](#)をご参照ください。

賞一覧

(賞は変わる場合があります。)



内閣総理大臣賞 賞杯

内閣総理大臣賞 (1点)

賞状・賞杯・楯・記念品・旺文社教育奨学金30万円

全作品中の最優秀作品に授与

文部科学大臣賞 (7点)

[サイエンスジャンル (3点) 学芸ジャンル (3点) イノベーションジャンル (1点)]

賞状・楯・記念品・旺文社教育奨学金10万円

各ジャンルの小・中・高校生の部、各部の最優秀作品に授与

環境大臣賞 (1点)

賞状・楯・記念品・旺文社教育奨学金10万円

環境分野全部門の最優秀作品に授与

分野賞 (6点)

賞状・楯・記念品・旺文社教育奨学金5万円

5分野の最優秀作品に授与

＊サイエンス分野：日本科学技術振興財団理事長賞

＊アート分野：日本芸術院長賞

＊文芸Ⅰ分野：早稲田大学総長賞

＊文芸Ⅱ分野：慶應義塾長賞

＊環境分野：共同通信社社長賞

＊イノベーション分野：旺文社ベンチャーズ社長賞

学校特別奨励賞

(各部門1校 全13校)

表彰状・楯・図書カード3万円分

サイエンス分野・アート分野・文芸Ⅰ分野／文芸Ⅱ分野・

環境分野・イノベーション分野の各部門で優秀な作品を応募した学校に授与

大日本印刷学校特別奨励賞

日本英語検定協会学校特別奨励賞

部門賞金賞

(各部門、各部 全17点)

賞状・記念品・図書カード1万円分(特別賞受賞者を除く)

各部門の小・中・高校生各部の最優秀作品に授与

部門賞銀賞・銅賞

(各部門、各部 全64点)

賞状・記念品

各部門・小・中・高校生各部の優秀作品に授与

部門賞入選

(全320点)

賞状・記念品

各部門の小・中・高校生各部のなかから10作品に授与

旺文社賞

旺文社赤尾好夫記念賞(全416点)

賞状・記念品(各部・各部門の金・銀・銅賞と、入選者に授与)

読書感想文部門努力賞(全51点)

賞状・記念品(各部の読書感想文部門で入選に準じた優秀作品に授与)

理科自由研究部門努力賞(全34点)

賞状・記念品(各部の理科自由研究部門で入選に準じた優秀作品に授与)

学校奨励賞

賞状(各部門で応募数の多かった学校に授与)

参加賞 (2027年2月下旬～3月上旬頃の発送予定)

コンクールに参加してくださった方全員に、参加賞を差し上げます。

※個人応募の方でも参加賞は学校経由でお届けします。あらかじめ担当の先生などにお話をしておいてください。

※塾応募の場合は、塾経由でお届けします。

※参加賞は作品を何点応募されてもお一人様一つとさせていただきます。



第69回参加賞

※第70回の参加賞は未定です。

選考委員

全国から寄せられた応募作品は、2026年10月上旬から各部門ごとに担当の先生方による数次にわたる厳正な選考・審査を経て、各部門の入賞候補作品が選出されます。

2026年12月の最終審査会において金賞・特別賞作品が選出されます。

サイエンスジャンル最終審査委員(予定)

◎日本学士院長	野依 良治
全国高等学校長協会会長	内田 隆志
全国小学校理科学研究協議会副会長	竹花 仁
全国中学校理科教育研究会顧問	田中 史人
学校法人 希望が丘学園 学園統括顧問	日置 光久
全日本中学校長会事務局長	富士道正 尋
全国連合小学校長会会長	松原 修
全国中学校理科教育研究会会長	和田 栄治

(第69回最終審査委員 50音順・敬称略 ◎は審査委員長)

学芸ジャンル最終審査委員(予定)

◎日本芸術院長	野村 萬
写 真 家	大石 芳野
環境省大臣官房総合政策課 環境教育推進室室長	黒部 一隆
東京国立博物館名誉館長 新国立劇場運営財団理事長	銭谷 眞美
文部科学省初等中等教育局 主任視学官	田村 学
公益財団法人 日本書道教育學會理事	永井 香樹
元全国造形教育連盟委員長	永関 和雄
昭和女子大学名誉教授	西本 鶏介
美 術 家 多摩美術大学名誉教授	堀 浩哉
作 家	三田 誠広
日本現代詩人会会長 詩 人	山田 隆昭

イノベーションジャンル最終審査委員(予定)

慶應義塾大学 SFC 研究所 上席研究所員 文部科学省 アントレプレナーシップ推進大使	長内あや愛
早稲田大学 研究戦略センター 教授 文部科学省 アントレプレナーシップ推進大使	島岡未来子
文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域振興課 産業連携推進室室長	溝田 岳
株式会社 旺文社ベンチャーズ パートナー	岡崎 祐樹



第69回サイエンスジャンル最終審査会



第69回学芸ジャンル最終審査会



第69回スタートアップ部門最終審査会



第70回 全国学芸 サイエンスコンクール

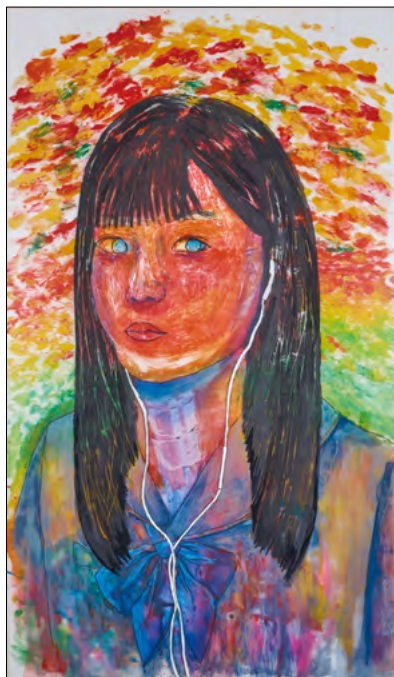
学ぶ人は、
変えて
ゆく人だ。



第69回全国学芸サイエンスコンクール アート分野 金賞受賞作品



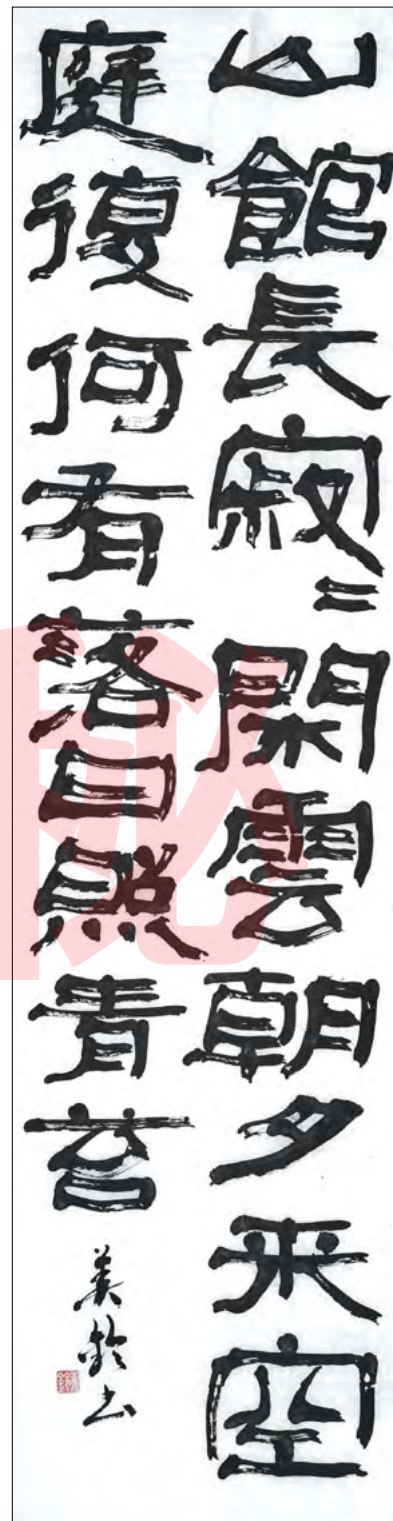
小学生の部 絵画部門 金賞 特別賞 文部科学大臣賞
「メルヘンな世界のわたし」
東京都豊島区立目白小学校 6年 三上 璃子



中学生の部 絵画部門 金賞 「i am...」
福岡県 久留米大学附設中学校 3年 井筒 珠希



高校生の部 絵画部門 金賞
「小さくなって」
岡山県 明誠学院高等学校 3年 小坂 綾音



高校生の部 書道部門 金賞 特別賞 日本芸術院院長賞
「山館」
福岡県立筑前高等学校 2年 山崎 美鈴



小学生の部 書道部門 金賞 「夏祭」
広島県広島市立五日市中央小学校 6年 有福 千紗



中学生の部 書道部門 金賞 「宇宙の鼓動」
栃木県宇都宮市立泉が丘中学校 3年 奈良 華音



第70回 全国学芸 サイエンスコンクール

学ぶ人は、
変えて
ゆく人だ。



第69回全国学芸サイエンスコンクール 環境分野 金賞受賞作品



小学生の部 写真部門 金賞
「もっと遊びたかった... ゲリラ豪雨め!!」
愛知県名古屋市長東山小学校 6年 増田 湧宮



中学生の部 写真部門 金賞 「木々の叫び」
東京都 上野学園中学校 1年 石井 杏野実



高校生の部 写真部門 金賞
特別賞 共同通信社長賞
「置き去り」
北海道 函館ラ・サール高等学校 1年 末石 啓人



小学生の部 ポスター/デザイン部門 金賞
「わたし、きれい？ プラスチックごみをなくそう!」
兵庫県西宮市立総合教育センター付属
西宮浜義務教育学校 5年 芝野 美萌



中学生の部 ポスター/デザイン部門 金賞
特別賞 環境大臣賞
「俺達の自然を返せ」
千葉県鎌ケ谷市立第三中学校 3年 平井 花音



高校生の部 ポスター/デザイン部門 金賞
「地球を救おう!! ～ゲームオーバーまであと何年...?～」
宮崎県立佐土原高等学校 1年 日高 杏菜



第70回 全国学芸サイエンスコンクール

学
ぶ
人
は、
変
えて
ゆ
く
人
だ。



第69回全国学芸サイエンスコンクール 特別賞受賞者 受賞にあたって

内閣総理
大臣賞

理科自由研究部門 小学生の部

「アゲハの大研究6 世界初！記憶の世代間継承とエピジェネティクス」

兵庫県神戸市立井吹東小学校6年 長井 丈 さん

この度は、内閣総理大臣賞という栄誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。受賞の知らせを聞いたときは、本当にうれしく、大変光栄に思いました。

アゲハの記憶の研究を始めたきっかけは、僕が育てた蝶を自然に放すとき、僕の周りを飛び姿を見て、「僕のことを覚えてくれているのではないか」と思ったことです。その疑問から、幼虫期の記憶は成虫になっても残るのではないかと考えました。本研究は、記憶が子や孫の世代にも受け継がれる可能性に注目し、小学1年生から6年間、飼育と観察、行動実験を通して取り組んできた成果です。その積み重ねが、この受賞につながったことをとてもうれしく思います。

実験の構成から考え、工夫と試行錯誤を重ねながら、実験装置を自作して研究を進めました。生き物を相手にした研究では計画通りにいかないことも多く、人工交配や採卵では、思うように卵が得られないことがあり、難しさを実感しました。それでも、アゲハの不思議や魅力に引きつけられ、気が付くと夢中で研究を続けていました。

ここまで研究を続けてこられたのは、多くの方々からの助言や支えがあったからです。支えてくださったすべての方々、ならびに審査委員、関係者の皆様に心より御礼申し上げます。これからも、新たな発見につながる問いに向き合いながら、研究を発展させていきたいです。

文部科学
大臣賞
サイエンスジャンル

社会科自由研究部門 小学生の部

「わたしが住んでいる四ノ瀬集落を流れている『長田川』の調査(その5)『長田川』の水はどのように利用されてきたのか ～井ぜぎ(井手)と水田～」 山口県美祿市立美東小学校6年 小田村 遥 さん

この度は、文部科学大臣賞という素晴らしい賞をいただきありがとうございます。

私が題材にした長田川は、毎日見ながら登校し、時には泳いで遊ぶような身近な存在です。五年前、この川のことをもっと知りたいと思ったのをきっかけに研究に着手しました。五回目となる今回は水の使われ方をテーマに、主に近所の井ぜぎ(井手)のつくりや取られた水がどこまで送られているか調査をしました。水路と水田を一つ一つ巡って

いく現地調査は約十四日間かかり、その日々は熱中症と大嫌いなマムシ、そして何度もくじけそうになる自分との戦いで大変でしたが、終わったときの達成感と充実感はとても大きかったです。

最後にこの場をお借りして、審査いただいた先生方をはじめコンクールに携わる皆様、応募する機会をいただいた旧綾木小学校と美東小学校の先生方、そして五年に渡って指導してくれた祖父母へ感謝を伝えたいと思います。ありがとうございました。

文部科学
大臣賞
サイエンスジャンル

社会科自由研究部門 中学生の部

「鳥獣害 ～野生動物との共棲を目指して～」

福岡県 久留米大学附設中学校 3年 伊藤 幸太郎 さん

この度は、文部科学大臣賞という名誉ある賞を頂くことができ、とても光栄に思います。自分が作品制作を進めるにあたって最終的な目標としていた憧れの賞だったので、受賞が決まった時は言葉に表せないほどの喜びと物凄い達成感を感じました。

野生動物に関しては田舎に住む身としては身近な存在であったことに加え、近年クマを筆頭に獣害が拡大しているという事実を知り興味を持ったのが研究のきっかけでした。

調査では、市役所にお邪魔したり、山間部にある集落を訪ねたり、

猟友会の人たちに直接お話を聞いたり、猟師の祖父と共に実際にシカを捕獲したり、と様々な経験を得ることができ、それらがこの作品において大きな礎になったのは言うまでもありません。また、制作過程では、テーマが広範囲の分野に渡っていたため、論じたいことが途中でずれないように先に3つの問いを立てそれらを軸に考えを膨らませていったのが、振り返ってみれば良かった点なのではないかと思っています。

最後に、この研究に関わってくださった全ての方々へ、本当にありがとうございました！

文部科学
大臣賞
サイエンスジャンル

自然科学研究部門 高校生の部

「産業廃棄物の再利用をめざして ～醤油粕から新しい食品へ～」

高校生の部 長崎県立諫早農業高等学校

この度は文部科学大臣賞という光栄な賞をいただき、部員一同大変うれしく思っております。私たちは「醤油粕」という産業廃棄物を削減するための研究を行ってきました。「醤油粕」は醤油の製造工程でもろみを圧搾した際に生じる廃棄物で、大きな問題となっています。本研究はこの醤油粕を食品に再利用できないかと思い、試行錯誤の結果、新商品「唐揚げの素」を開発しました。成分の分析や保存検査、官能検査などを行い、連携企業との協働により研究を進め、その研究活動の過程で多くの壁にぶつかり、開発の難しさを身に染みて感じました。今回の論文は先生に助言をいただきながら作成しました。そして、こ

の努力と成果を認めていただき、「文部科学大臣賞」という光栄な賞をいただきました。

今後は部員全員で力を合わせて今回開発した商品のさらなる普及活動を行っていき、産業廃棄物ゼロを目指した取り組みを推進していきたいです。

このような素晴らしい賞をいただけたのは日頃から熱心に指導して下さる先生方や企業の方、部員が支えてくださったからだと思えます。本当に感謝しています。最後になりましたが本コンクールの主催者、審査委員の先生方、本当にありがとうございました。



第70回 全国学芸サイエンスコンクール

学
ぶ
人
は、
変
え
て
ゆ
く
人
だ。



第69回全国学芸サイエンスコンクール 特別賞受賞者 受賞にあたって

文部科学
大臣賞
学芸ジャンル

絵画部門 小学生の部

「メルヘンな世界のわたし」

東京都豊島区立目白小学校 6年 三上 璃子 さん

この度は、私の作品を栄誉ある文部科学大臣賞に選んで頂きまして、誠にありがとうございます。小学校生活の最後に最高の思い出になりました。

この作品は自画像です。現実の自分となりたい自分を表現してみました。

この作品を制作している時は、学校生活で友達のこと、勉強のことで少しモヤモヤする事もありました。現実の私は、学校でも家でも、色々な人や物に支えられています。

この絵は、自分の心の中で作り出した自分だけの世界を描きました。なるべく暗い色を使わずに、カラフルな色を使って描いているうちに、自然と明るい気持ちになれたし、どんどんワクワクしてきました。私は小さい頃から絵を描くことがただ好きで、これからも描き続けていきます。

最後になりますが、小学1年生の頃からご指導くださった、下落合アトリエの村尾成律先生と、今回、作品を評価して下さいました審査委員の先生方に心より感謝いたします。ありがとうございました。

文部科学
大臣賞
学芸ジャンル

小説部門 中学校の部

「相対的にバツ、絶対的にマル」

茨城県牛久市立牛久南中学校 2年 安部 愛禾 さん

今の自分の最善を尽くして紡いだ言葉たちが、審査委員の方々の心に響いたことは、とても稀有で光栄なことです。受賞の連絡がきた時には、発表画面を見てもまだ事実を疑ってしまうほど嬉しかったです。

応募する際に、自信はありませんでした。登場人物たちは書き手に性格が似てしまったのか、非常に不真面目で、結末が何度も変わりました。小説全体が、自分が書きたい風景がちぐはぐに結びついたもの

にならないか、心配しながら書いていました。賞をいただけるような形に結果的にすることができ、応募してよかったと思えました。

これからも、私が表現しなければこの世界に存在しないものを作り出していくことに挑戦したいです。意思疎通の道具である言葉は、多くの場合感情や情景を表現するための代替品として存在します。代替品という役目から言葉を解放し、「言葉にするのが最善の状態である」物語を、これからも楽しみながら、苦しみながら書いていきたいです。

文部科学
大臣賞
学芸ジャンル

小説部門 高校生の部

「ひだまりカフェ奇譚」

東京都 女子学院高等学校 1年 赤嶺 志帆 さん

すっかり葉を落とした桜の木が、冬特有の青空を突き刺すように枝をのびている。私はひだまりカフェで、受賞を知らせる紙をもう一度ゆっくりと読み直した。本当に私がこのような名誉ある賞をいただいているのだろうか。

私たち高校生は、学校や家庭、塾といった狭い社会の中で、進路や親子・友人関係など様々な悩みと向き合っている。このひだまりカフェで繰り上げられる物語は、重いように見えるが私たちの日常に潜んで

いるものばかりである。そして登場人物たちはその少し不思議な体験を通してそれぞれの方向に足を踏み出す。初めて小説を書くという行為を通し、私自身も一歩、歩みを進められたように思う。

書きたい内容を絞ることが難しく、「縁一絆」をテーマとして連作短編という形をとった。この小説を選んでくださった審査委員の皆様、支えてくださった全ての人に深く感謝申し上げます。

環境大臣賞

ポスター／デザイン部門 中学生の部

「俺達の自然を返せ」

千葉県鎌ケ谷市立第三中学校 3年 平井 花音 さん

今回、環境大臣賞という名誉ある賞をいただけてとても嬉しいです。私は部活動の一環で、このコンクールに参加しました。ポスターを描くきっかけになったのは、自分が見てきた景色が関係しました。夏休みに大分に帰省した時に山の中に沢山のソーラーパネルがあるのを見つけました。その時にソーラーパネルを設置するにあたって木などが伐採されており、山に居る生物の環境が壊れているのではと思いが

スターを作成しました。ポスターに怒った様子の熊を取り入れることで、元々の環境を破壊されて怒っていることを表現しました。

ソーラーパネルを設置して得られるメリットもありますが、環境破壊が同時に起きてしまっています。私のポスターでなにかを伝えることができたら嬉しいです。

金賞作品集

金賞作品を収録した作品集をご応募いただいた学校・塾と入賞者の方々にお送りしています。また、表彰式・受賞パーティーにて出席者・ご来賓の方に贈呈しています。



第69回表彰式・受賞パーティー（オークラ東京）



■第69回金賞作品集をご希望の場合

郵便局などで『レターパックライト（430円）』をご購入いただき、お届け先をご記入のうえ、封筒に入れて（※封筒表には必ず「第69回金賞作品集希望」と明記）、事務局宛にお申込みください。

■第67回、第68回金賞作品集をご希望の場合

『スマートレター（A5サイズ/210円）』をご購入いただき、封筒に入れて（※封筒表には「第〇回金賞作品集希望」と明記）、事務局宛にお申込みください。2冊以上ご希望の場合は必要分のスマートレターをお送りください。

※お申し込み可能な作品集は第67回～第69回分となります。在庫に限りがありますので、ご希望に沿えない場合はご了承ください。



第69回金賞作品集

ラピス

全国学芸サイエンスコンクール
公式キャラクター



“ラピス”はスペイン語で「えんぴつ」。鼻の部分がえんぴつなんです。現在小学校をはじめ、多数の教育現場で、えんぴつの使用が推奨されています。そんな「ラピス（えんぴつ）」は児童生徒の学びや表現、創造のシンボルともいえます。また、悪夢を食べてくれるといわれる「ばく」もモチーフとなっており、児童生徒に夢と希望を持続して欲しいという願いが込められています。体の緑は「健康」をイメージし、見る人に健やかな印象を与えます。“ラピス”という軽やかな響きも覚えやすく、皆さまに愛されるキャラクターとなることでしょう。ラピスは全国学芸サイエンスコンクールの創造と希望の象徴です。私たちはラピスと共に、夢を実現していく児童生徒を応援します。

〒162-8680 東京都新宿区横寺町55 株式会社 旺文社 全国学芸サイエンスコンクール事務局

Eメール gakkon@obunsha.co.jp

電話 03-3266-8002 FAX 03-3266-6849

「スタートアップ部門」を除き、
Eメールでの作品応募はできません

ホームページ <https://www.obunsha.co.jp/gakkon/>